

広島立広島特別支援学校 見学会レポート

広島工業大学環境学部環境デザイン学科

濱本 実幸

2013年2月23日に、広島市立広島特別支援学校を訪問させて頂きました。多目的ホールで説明を伺い、エレベーター・階段などの上下移動と各階の教室・廊下を見て回りました。

エントランスから入り、ひかりのひろばに向かうと、吹き抜け部分が三階まであり開放的で明るい印象を受けました。階段やエレベーターは色分けをしており、現在地を把握することができるため混乱を防ぐことができ、階段は蹴上が低く踏面が広いだけでなく、壁に段数が書かれてあり、生徒が数えながら登る楽しさを促しているのだと感じました。

廊下には、一人かまくら、二人かまくらという少人数で入ることができる囲まれたコーナーが設けてあり、子ども達の安心・安定に繋がっていると思います。教室には、クラスの壁や窓に鮮やかに作品を展示されており、ひとりひとりの個性が出ており、気分向上と教室が自分の居場所感覚を与えていると感じました。

自然にも多く触れ合えるように、あそびのひろば・まなびのひろば・そらのひろば、が設けられており、それだけではなく校庭で農園を行っているそうです。体育館は、二階部分の開口部が円形になっており、ポップな印象でした。室内プールは、仰向けになって運動する生徒が多いため、サイドに照明を設けるなど工夫されていました。

生徒達が社会に出てから役に立つように設備も整えられています。食品加工室では、本格的な機械設備を取り扱っており、販売商品も作ることが出来るそうです。

学校は地域行事や災害時の避難場所など多くの方が利用されます。そのため、特別支援学校だからではなく、すべての学校がバリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた、誰にでも使いやすい場所になって欲しいと感じました。